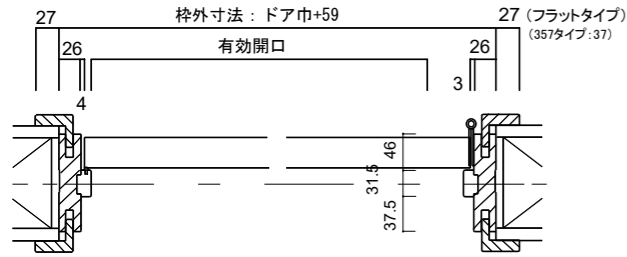


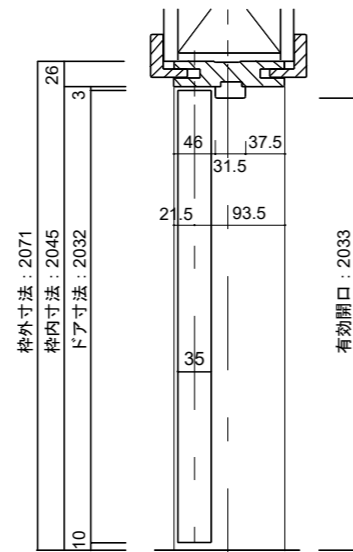
納まり図

横断面図



	本体寸法		枠外寸法		有効開口
	W	H	W	H	
2'-0"	610	2032	669	2071	548
2'-2"	661		720		599
2'-4"	711		770		649
2'-6"	762		821		700
2'-8"	813		872		751

縦断面図



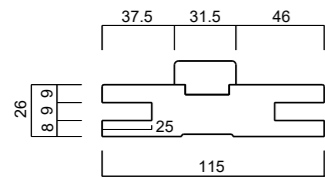
* 縦枠は長めに設定してあります。
現場にてカットしてご使用下さい。

～ホワイトペイントドアフレーム～
開戸施工説明書

枠・ケーシング

上枠・縦枠

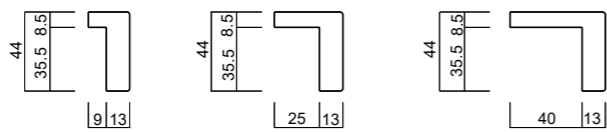
上枠 L=636(2-0)・687(2-2)・737(2-4)mm
788(2-6)・839(2-8)mm
縦枠 L=2,120mm



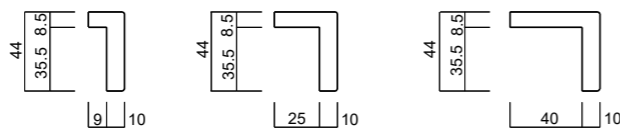
差込用ケーシング

フラットタイプ L=2,200mm

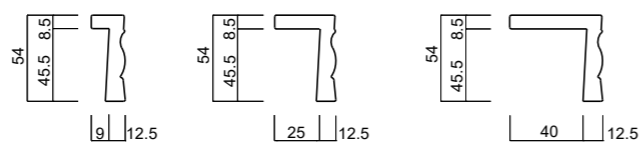
縦用



横用



357タイプ L=2,200mm



この度は、ホワイトペイントドアフレームを採用いただきまして誠にありがとうございます。
ドアは、水平・垂直・ねじれ等により、完成時に支障をきたす恐れがございますので施工前には必ずこの施工説明書をよくお読みいただき、ご理解の上、施工して下さい。

開戸

施工の前に...

・梱包内容の確認

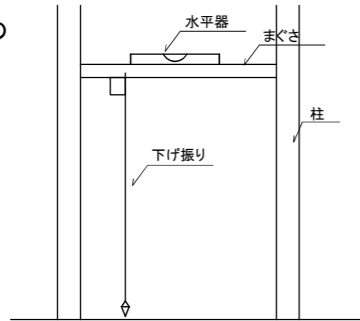
こちらの枠はジャストカットではありません。
長さカットが必要な部材があります。下表でご確認ください。

梱包内容

開戸枠	上枠	1本	各サイズ(カット不要)
	縦枠	2本	下部現場カット必要
	戸当り(上枠用)	1本	現場カット必要
	戸当り(縦枠用)	2本	現場カット必要・戸当りパッキン付(1本)

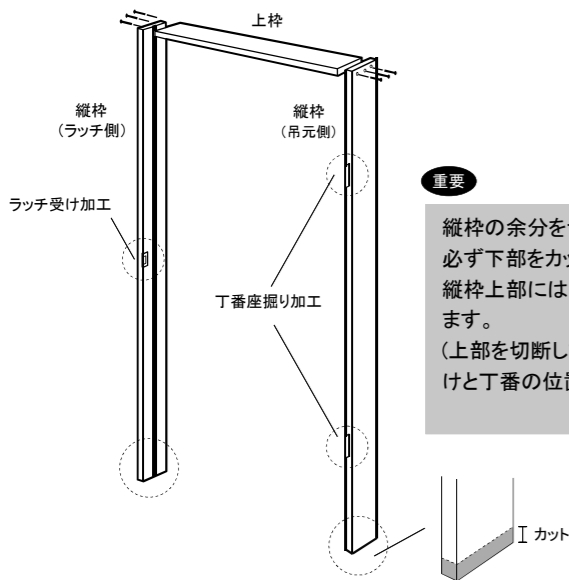
・開口部の調整

下げ振り・水平器で柱・まぐさの
水平、垂直、ねじれなどが
ないか確認の上調整してください。



① 枠の組立

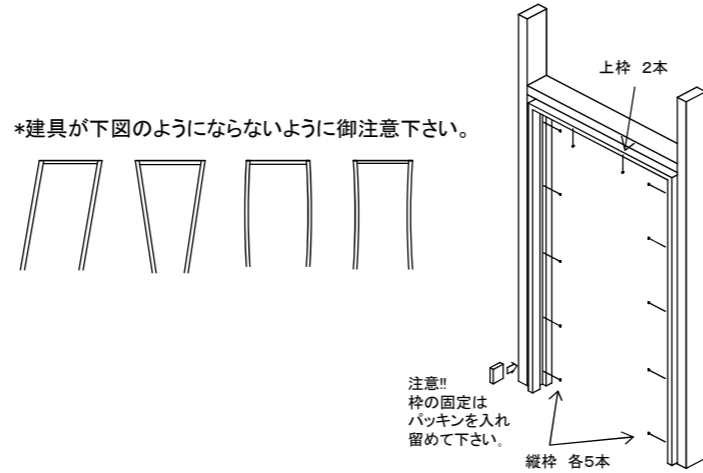
- ・上枠と縦枠を同梱のビスで固定して下さい。
(両側3本ずつ、計6本)
下穴処理をせずに組み立てた場合、枠が割れる可能性があります。
- ・丁番の座掘り加工がしてある縦枠を吊元側へ、ラッチ受けの加工がしてある縦枠をラッチ側へ使用して下さい。



重要
縦枠の余分を切断する時は、必ず下部をカットして下さい。縦枠上部には欠き込みがあります。(上部を切断しますと、ラッチ受けと丁番の位置が狂います)

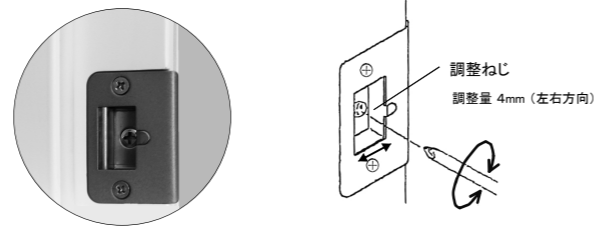
② 枠の取付

- ・柱及びまぐさとドア枠との隙間にパッキン材をかませ、垂直を確認します。そして、水平・ねじれの無いよう、枠内寸法が狂わないようにして戸当り用溝部にビスで固定して下さい。



③ 調整ラッチの取付

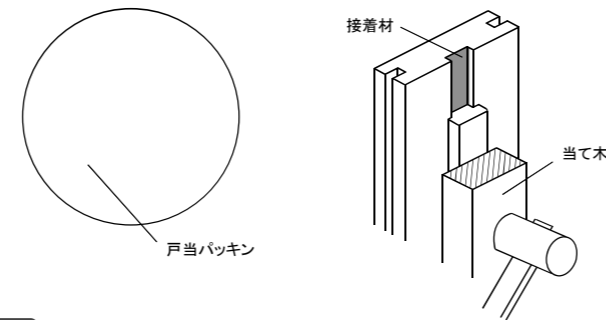
- ・取付け位置を確認のうえ、同梱のビスにて取り付けて下さい。



扉がガタついたり、ラッチが掛かりにくい場合は、プラスドライバーで調整ねじを回し、調整してください。

④ 戸当りの取付

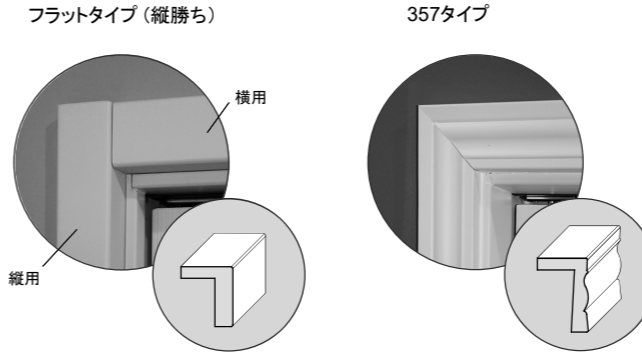
- ・ドア枠に合わせて、戸当りの長さを調整して下さい。
- ・ラッチ側にパッキンの付いた戸当たりをご使用下さい。



ご注意
・金槌を使用される場合は、必ず当て木をして行って下さい。
・接着剤が乾くまで固定して下さい。

⑤ ケーシングの取付

- ・ケーシングはフラットタイプ、357タイプの2種類ございます。現場にて長さを調整して下さい。
- ・フラットタイプは縦勝ち納め、357タイプは留め納めとなります。
- ・接着剤もしくはフィニッシュネイルで固定して下さい。

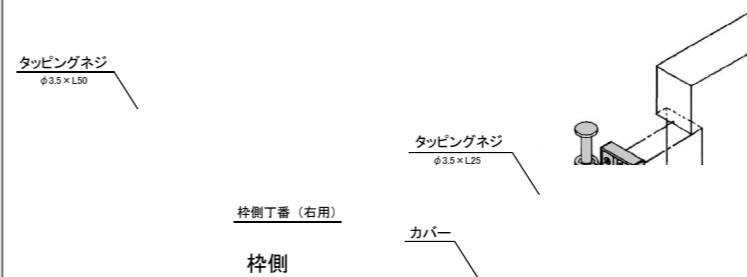


⑥ 丁番の取付・ドア吊込

【丁番の取り付け】

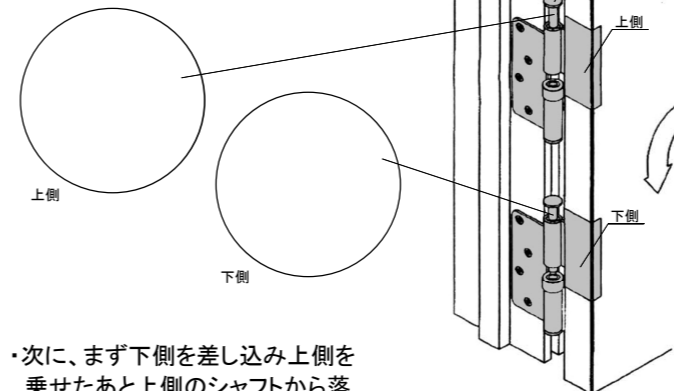
右吊用、左吊用がありますので、取付け前にご確認ください。

- 枠側
φ3.5 × 長さ50mmのタッピングネジにて枠側の丁番を止めます。
- 扉側
φ3.5 × 長さ25mmのタッピングネジにて扉側の丁番を止めます。



【ドア吊り込み】

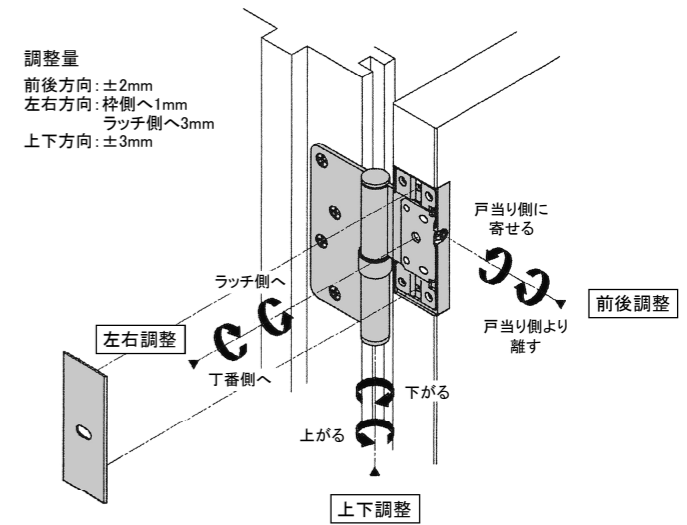
- ・扉を吊り込む前にシャフトを引き上げておきます。



- ・次に、まず下側を差し込み上側を乗せたあと上側のシャフトから落とし込みます。

《丁番の調整方法》

- ・カバーを外し、調整ねじをプラスドライバーで回します。前後・左右・上下に調整可能です。



ご注意

・電動ドライバーでの調整は、内部調整機構を破損する恐れがありますので使用しないで下さい。

⑦ ハンドルの取付

- ・ハンドルに同梱されている取付説明書に従い取付けて下さい。